



——日本での海苔の不作
が続く米も高騰するなど、
海苔業界を取り巻く環境は
厳しい。どのような戦略で
対応するか
健康志向、日本食ブーム

の中で、海外でも海苔の需
要が高まっている。海外事
業については業界の中で後
発にはなるが、展開を広げ
ていきたい。そのためにも
FSSC22000の取得

に向けて申請を進
めている。アメリ
カやヨーロッパな
どに出向いての営
業はできていな
かったが、コロナ
禍を明け、アメリ
カの展示会に出展
するなど、商機を
探っている。上海

国内では、新販路を模索
しているが、「パリパリ職人」
で成果が出てきているのが
アミューズメントのUFO
キャッチャーだ。「パリパリ
職人」については、取引先
からも色々な要望や意見を
いただいているので、今後
の商品展開も期待をしてい
る。秋冬の新品から挑戦

しているのが「新市場創造
型商品」で、生活変化をも
たらしてくれるような製品
の開発を始めている。第一
弾は「焼きおにぎりのソー
ス」。個包装になっていて、
ご飯があればトースターで
焼けば出来上がる。焼きお
にぎりは冷凍食品でも人気
だが、解凍にムラがあった
り、サイズが小さいなどの
声があった。持ち歩きしや
すいので、バーベキューや
キャンプなどのシーンにも
提案できる。テスト販売を
しながら、商品としてしっ
かり定着させていきたい。
また、最近では海苔以外の
商品の構成を増やしていこ
うと取り組んでおり、数年
前に販売した商品の掘り起
こしが奏功しているケース
が増えている。改めての提
案を強化した「ゆず香る野
菜たっぷりスープ」は、野
菜高騰の追い風もあり、24
年度は前年度の倍の売り上

——SDGsが世の中に
浸透したが対応は
できることから始めてい

対応は
在宅勤務など多様な働き
方を認めつつ、有給取得の
推進などライフワークバラ
ンスを重視している。生産
性を上げるため、人材の育
成にも力を入れており、社
内外の教育研修制度の充実
を図っている。業務効率化
のため、システム導入など
IT化を進めている。

▼昔のビールには猛暑特需
があった。ビール単体で史
上最高の消費を記録した94
年も猛暑に消費が沸いた。
その後、暑くても増えない
と減る、という傾向が続い
ている。容器戦争が話題と
なり、皆でワイワイガヤガ
ヤと飲んだ頃が懐かしい。

大森屋

インタビュー

【大阪】国産海苔の不作、米の高騰と苦難が続く海苔業界。海苔
を主力とした総合食品メーカーとして、付加価値の高い製品づくり
を進める大森屋の次の一手
は——。日置純司営業本部
長(写真)に話を聞いた。
(聞き手 宮本美智子)

新市場創造型商品を開発

海外事業も加速へ

は、従来の健康食品と一般
食品を統合し、ドラッグス
トアが担う食生活支援の新
たな可能性を提示する。ド
ラッグストアでの市場拡大
は年々進み、生鮮食品や日
配、冷凍食品など種類も豊
富になり、業界関係者、一

般生活者から注目されてい
る。
「未来を描く3日間に」
ドラッグストアは今や、
医薬品販売にとどまらず、
健康・美容・生活支援を担
う地域密着型インフラとし
ての機能が求められてい

る。主催のJACDSでは、
「すべての来場者がセルフ
メディアケーションの意義を
体感し、より良い暮らしへ
のヒントを持ち帰っていた
だくことを目指す」として
おり、展示・体験・学びを
通して、ドラッグストア業

界の「これまで」と「これ
から」を結ぶ、実りある3
日間となりそうだ。
【開催概要】
名称・第25回JAPAN
ドラッグストアショー
会期・2025年8月8
日(金)～10日(日)午前

10時～午後5時※8日はビ
ジネス関係者対象、9・10
日は一般公開日
会場・東京ビッグサイト
東展示棟 4・5・6・7ホー
ル
主催・一般社団法人日本
チェーンドラッグストア協

会(JACDS)
出展社数・約385社・
1280小間(前回実績と
同規模)
来場予定者数・約12万人(ビ
ジネス・一般合算)

ビール類とRTDの上期
販売実績は対照的な結果と
なった。ビール類は値上げ
仮需で膨らんだ3月の後は
3カ月連続マイナスで前年
同期比96%程度。仮需在庫
が払拭された6月も期待を
大きく下回る96%止まり
▼対するRTDは上期、6
月ともに103%だった。
5月中旬には仮需在庫が捌
け、その後、緩やかながら
回復基調に戻ったようだ。
4月はビール類、RTDと
ともに値上げされたが、立ち
直りはRTDが早かった
▼ビール系エコノミー愛飲
者の価格センサーが敏感で、
RTDとの併飲率も高まっ
ていること、予期せぬ猛暑
が風味の面でRTDを後押
したことも、そして、コメ
価格の高騰による家計の食
費圧迫などが背景だろう
▼昔のビールには猛暑特需
があった。ビール単体で史
上最高の消費を記録した94
年も猛暑に消費が沸いた。
その後、暑くても増えない
と減る、という傾向が続い
ている。容器戦争が話題と
なり、皆でワイワイガヤガ
ヤと飲んだ頃が懐かしい。

